



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 ケイヒン株式会社
 コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 杉山 光延
 (氏名) 荒井 正俊
 TEL 03-3456-7825

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,159	17.5	2,028	22.0	2,273	32.4	1,550	32.4
2022年3月期第2四半期	27,373	16.1	1,662	42.4	1,717	42.3	1,170	35.4

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 2,130百万円 (75.3%) 2022年3月期第2四半期 1,215百万円 (57.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	237.45	—
2022年3月期第2四半期	179.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	43,017	23,297	54.2
2022年3月期	41,989	21,493	51.2

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 23,297百万円 2022年3月期 21,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	9.0	3,650	16.2	3,965	20.6	2,700	19.3	413.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	6,536,445 株	2022年3月期	6,536,445 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	7,499 株	2022年3月期	7,499 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	6,528,946 株	2022年3月期2Q	6,529,073 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済社会活動の制限緩和に伴い持ち直しの動きがみられたものの、円安や資源価格高騰による物価上昇、ロシアのウクライナ侵攻の影響により、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内物流事業は、倉庫保管・入出庫の取扱いが増加しましたが、配送取扱いの減少により減収減益となり、国際物流事業は、貨物の取扱いが増加するとともに海上運賃高騰や円安の影響により増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は321億5千9百万円（前年同期比47億8千5百万円の増収、17.5%増）、営業利益は20億2千8百万円（前年同期比3億6千5百万円の増益、22.0%増）、経常利益は22億7千3百万円（前年同期比5億5千6百万円の増益、32.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億5千万円（前年同期比3億7千9百万円の増益、32.4%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減(△印減)	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	14,693	13,027	△1,665	△11.3
国際物流事業	13,181	19,621	6,439	48.9
セグメント間内部売上高	△501	△489	11	—
合計	27,373	32,159	4,785	17.5

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、保管・入出庫の取扱いが増加し、売上高は37億6千3百万円（前年同期比9.3%増）、流通加工業の売上高は28億2百万円（前年同期比25.0%減）、陸上運送業は、配送取扱いが減少し、売上高は60億4千2百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は130億2千7百万円（前年同期比16億6千5百万円の減収、11.3%減）、営業利益は13億4千7百万円（前年同期比1億9千5百万円の減益、12.7%減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、貨物の取扱いが増加するとともに海上運賃高騰や円安の影響により、売上高は175億4千3百万円（前年同期比58.7%増）、航空運送取扱業の売上高は10億5千9百万円（前年同期比4.0%増）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は10億1千9百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は196億2千1百万円（前年同期比64億3千9百万円の増収、48.9%増）、営業利益は15億2千7百万円（前年同期比5億9千6百万円の増益、64.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して10億2千7百万円増加し430億1千7百万円となりました。この要因は、主に現金及び預金の増加により流動資産が8億7千9百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して7億7千6百万円減少し197億1千9百万円となりました。この要因は、主に借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、利益剰余金の増加及び円安の進行に伴う為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比較して18億4百万円増加し232億9千7百万円となりました。

純資産の増加及び借入金の減少により、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.2%から54.2%へ改善し、借入金依存度は、前連結会計年度末の23.0%から20.2%へ低下しました。

決算年月	2021年9月	2022年9月	2022年3月
自己資本比率 (%)	47.9	54.2	51.2
借入金依存度 (%)	25.0	20.2	23.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産
借入金依存度：借入金残高（社債含む）／総資産

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益22億6千7百万円、減価償却費による資金留保8億2千7百万円等により、28億6百万円の収入となりました。前年同四半期（32億8千6百万円の収入）との比較では、法人税等の支払額が増加したこと及び減価償却費が減少したこと等により、4億7千9百万円の収入の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資4億8千8百万円、投資有価証券の取得4千6百万円、貸付けによる支出3千1百万円等により、5億6千万円の支出となりました。前年同四半期（3億2千7百万円の支出）との比較では、2億3千3百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により14億2千9百万円の支出となりました。前年同四半期（12億7千1百万円の支出）との比較では、1億5千7百万円の支出の増加となりました。

これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1億7千1百万円の増加）を加え、全体では9億8千8百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、76億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年5月10日公表の予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,104	8,164
受取手形及び営業未収金	4,654	4,536
電子記録債権	226	256
その他	1,384	1,293
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	13,365	14,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,974	48,199
減価償却累計額	△35,159	△35,678
建物及び構築物（純額）	12,814	12,520
機械装置及び運搬具	2,898	3,006
減価償却累計額	△2,381	△2,448
機械装置及び運搬具（純額）	516	557
工具、器具及び備品	2,240	2,258
減価償却累計額	△1,915	△1,960
工具、器具及び備品（純額）	325	297
土地	6,809	6,809
リース資産	1,378	1,331
減価償却累計額	△686	△698
リース資産（純額）	691	633
建設仮勘定	73	232
有形固定資産合計	21,232	21,051
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	390	349
無形固定資産合計	1,367	1,326
投資その他の資産		
投資有価証券	4,879	5,362
繰延税金資産	304	204
その他	848	846
貸倒引当金	△42	△46
投資その他の資産合計	5,989	6,367
固定資産合計	28,589	28,745
繰延資産		
社債発行費	33	26
繰延資産合計	33	26
資産合計	41,989	43,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,608	2,918
短期借入金	3,741	3,541
1年内償還予定の社債	860	1,360
リース債務	217	203
未払法人税等	816	755
その他	1,673	1,711
流動負債合計	9,917	10,491
固定負債		
社債	2,360	1,680
長期借入金	2,702	2,099
リース債務	543	492
繰延税金負債	27	71
役員退職慰労引当金	1,068	951
退職給付に係る負債	2,535	2,591
長期前受金	966	966
その他	374	374
固定負債合計	10,578	9,228
負債合計	20,496	19,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	11,193	12,417
自己株式	△14	△14
株主資本合計	20,971	22,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	749	1,007
為替換算調整勘定	△184	128
退職給付に係る調整累計額	△42	△33
その他の包括利益累計額合計	522	1,102
純資産合計	21,493	23,297
負債純資産合計	41,989	43,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	27,373	32,159
売上原価	24,718	29,095
売上総利益	2,655	3,063
一般管理費	992	1,035
営業利益	1,662	2,028
営業外収益		
受取利息及び配当金	113	124
為替差益	—	142
その他	19	38
営業外収益合計	133	305
営業外費用		
支払利息	44	37
為替差損	22	—
その他	12	21
営業外費用合計	78	59
経常利益	1,717	2,273
特別損失		
固定資産処分損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	1,716	2,267
法人税、住民税及び事業税	847	697
法人税等調整額	△301	20
法人税等合計	546	717
四半期純利益	1,170	1,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,170	1,550

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,170	1,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	258
為替換算調整勘定	108	312
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	44	580
四半期包括利益	1,215	2,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,215	2,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,716	2,267
減価償却費	930	827
固定資産処分損益 (△は益)	0	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39	55
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	△116
受取利息及び受取配当金	△113	△124
支払利息	44	37
売上債権の増減額 (△は増加)	265	89
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69	310
長期前受金の増減額 (△は減少)	966	—
その他	△71	87
小計	3,722	3,444
利息及び配当金の受取額	109	118
利息の支払額	△45	△35
法人税等の支払額	△499	△765
法人税等の還付額	—	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,286	2,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△46
定期預金の預入による支出	—	△1
定期預金の払戻による収入	233	—
固定資産の取得による支出	△562	△488
貸付けによる支出	—	△31
貸付金の回収による収入	0	0
投融資による支出	△3	△6
投融資の回収による収入	4	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△221	△70
リース債務の返済による支出	△123	△120
長期借入れによる収入	30	60
長期借入金の返済による支出	△819	△792
社債の発行による収入	788	—
社債の償還による支出	△600	△180
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△325	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,271	△1,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,730	988
現金及び現金同等物の期首残高	5,307	6,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,037	7,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,249	13,124	27,373	—	27,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	444	57	501	△501	—
計	14,693	13,181	27,875	△501	27,373
セグメント利益	1,542	930	2,472	△810	1,662

- (注) 1 セグメント利益の調整額△810百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△805百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,588	19,570	32,159	—	32,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	50	489	△489	—
計	13,027	19,621	32,649	△489	32,159
セグメント利益	1,347	1,527	2,874	△846	2,028

- (注) 1 セグメント利益の調整額△846百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△845百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。